

朝日新聞神奈川 2019年9月3日

承諾書番号 19-3841

利用期間 2019年9月24日より1年間

# 難病の子と家族に旅行を

難病と闘っている子どもと家族が一緒に旅行ができるようにと、ラグビーのトップリーグに所属する三菱重工相模原ダイナボアーズ（本拠地・相模原市）の選手たちが、「#優しい筋肉」と名付けたクラウドファンディングで旅行費などの資金を募っている。

国内には15万人以上の難病の子どもがいるとされ、人工呼吸器などが欠かせない子も多い。24時間の介護が必要な家庭では、旅行はもちろん、日々の外出も大変だという。



難病児支援スクラム

#優しい筋肉

クラウドファンディング「#優しい筋肉」で支援を募る「三菱重工相模原ダイナボアーズ」の選手たち

## ラグビー・ダイナボアーズ ネット通じ資金募る

公益社団法人「ア・ドリーム・ア・デイ IN TOKYO」（東京）はこれまでに計85人の難病児と家族を旅行に招待。ダイナボアーズは2017年から公式戦やイベント時に募金活動に協力している。選手が病児に会いに行くなど、病児や家族と交流する機会が増えてきたという。

そこで今回、来年春に同法人が実施予定の旅行にかかる費用を、選手たちがクラウドファンディングで資金を募って支援することにした。旅行費には、飛行機移動時の医療ストレッチャー設置料や、病児に同行するドクターの交通費などが含まれる。

目標額は150万円で、12月20日まで募集する。出資者は3千円、5千円、1万円、2万円、3万円、5万円の6コースから選ぶ。返礼品として、選手の写真入りお札カードや全選手のサイン入りラグビーボールなどが贈られる。

選手たちは「難病児や家族の夢の実現に少しでも役立てたい」とコメントを寄せている。

朝日新聞社のクラウドファンディング「A-Port」（エーポート）内のサイト（<https://a-port.asahi.com/projects/gentlemuscles/>）で募っている。（石平道典）

\*本記事を朝日新聞社に無断で転載することは禁じられています